



# ふたば

No.2

令和5年4月28日  
清新ふたば小学校  
学校長 三柴 祐子

みんなで挑戦 一心同体 ふたばのバトンを つなげよう！

4月22日（土）、2～4時間目に学校公開、午後は保護者会、さらにその後にPTA役員が集う運営委員会が行われました。また、日本語学級の面談も行いました。御来校くださった保護者の皆様、御多用にもかかわらずありがとうございました。今回はコロナ禍ではありますが、参観者のマスク着用はお願いしたものの、学校公開は人数と時間の制限がない形で実施しました。子どもたちが張り切って学校生活を送っている様子を、国語や道徳、体育など複数教科で参観していただくことができました。子どもたちの笑顔や真剣な眼差しなど、様々な姿を御覧いただけたのではないかと考えております。子どもたちは教科によって興味関心の高さが違います。でも、新学期が始まったばかりということもあり、子どもたちは得意なことだけでなく、苦手なことや新しいことにも前向きにがんばっているところです。日本語の習得が進んでいない子どもたちも、自分ができることに最大限に取り組んだり、大人や友達のサポートを得ながら頑張ろうとしたりする姿も見られました。

さて、今年度から運動会を春に実施します。今月の20日（土）が運動会です。本文の題名は、今年度の運動会のスローガンです。各学級で意見を出し合い、その意見を代表委員会の5・6年生が集約してこのスローガンができ上がりました。今、3年生が協力して掲示用のスローガンを作っているところです。徒競走の試走や表現の練習なども、各学年で順次始まっています。運動会に向けての取組を通して、子どもたちが所属感や連帯感を深め、豊かな人間関係をつくっていけるように指導していきます。現在、練習が少しずつ始まっております。表現運動では、一人一人が動きを覚え、音楽に合わせて表現できるようになれば完成するというわけではありません。表現運動は、得意な人も苦手な人もいます。音を聞きながら互いの気持ちを合わせ、調和のとれた演技を完成させるためには、お互いに協力し励まし合わなければなりません。優しさや思いやりが必要です。徒競走では、力いっぱい走りきることの気持ちのよさを味わうとともに、お互いの健闘をお互いに讃え合う気持ちも大切に育んでいきたいと考えています。そして、運動会后、日常の学校生活に戻るときに、次に向かう意欲や活力となって心に残るよう、子どもたちを励ましながら指導していきます。近隣の皆様におかれましては、普段よりも音が鳴り響き御迷惑をおかけいたしますが、御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。保護者や地域の方々の心からの応援が、子どもたちの励みとなり力となります。子どもたちを応援していただきますようよろしくお願いいたします。